檜山教育局による地学協働活動推進のための広報

ひとづくり　や　まちづくり

ひやまをつなごう

第7号　令和4年(2022年)11月

●発　行:北海道教育庁檜山教育局
●担　当:教育支援課社会教育指導班
●電　話:0139-52-6525(直通)
●メール:hiyakyo.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp

1　各町のイベントのご紹介（せたな町）

親子 de よりみち広場

せたな町教育委員会が主催する「親子 de よりみち広場」が、せたな町民ふれあいプラザで 10 月 2 日（日）に開催され、たくさんの家族連れで賑わいました。

楽しい絵本に夢中！

会場には、似顔絵アートやピエロによるバルーンアート、乳幼児向けのパソコンタイピング体験コーナーが設置されたほか、読み聞かせボランティア団体「ピノキオ」「絵本の広場」による絵本の読み聞かせが行われました。また、休憩スペースに子育て相談コーナーが設置され、町の家庭教育ナビゲーターが応対していました。

会場の様子

参加した親子は、「絵本を読んでもらって楽しかった。」「ピエロにバルーンアートで剣を作ってもらって嬉しかった。」などと話し、楽しい休日のひとときを過ごしていました。

ボランティアとして参加していた家庭教育ナビゲーターは、「このようなイベントが開催できるようになってきて嬉しい。子どもたちの喜ぶ顔が見ることができて良かった」と話していました。

2　中高生のリーダー育成事業

令和４年度檜山管内ジュニアリーダー養成事業「ひやまミライ学」

北海道教育委員会は、将来の地域リーダーを担う管内の中高生を対象に、SDGs や防災について学ぶ「ひやまミライ学」を 10 月 8 日（土）オンラインで開催し、管内 5 町から中高生 8 名が参加しました。

オンラインでの研修会

SDGs についての学習では、基本理念や 17 の目標について、クイズを通して学びました。その後、企業の取組事例などを参考にしながら、身近に取り組むことのできる SDGs について考え、意見交流を行いました。

防災についての学習では、北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル森の舛田暁史氏を講師に、災害についての基礎知識や災害が起こったときの対応、避難所での生活についての説明を受けたほか、非常時に役立つ新聞紙のスリッパづくり体験を行うなど、楽しみながら防災について学ぶことができました。

参加者からは、「SDGs について、具体的な場面を元に考えることができて良かった。」「今後災害があったときには、助けられる側ではなくて助ける側になりたい」などの感想が寄せられました。参加者それぞれの考えを深めるいい機会となりました。

3　家庭教育サポート企業情報「株式会社 高橋建設」（厚沢部町）

魅力ある取組について（当日資料より）

北海道教育委員会では、採用 5 年目までの教員を対象に、実践的指導力と教育者としての使命感を養うとともに、幅広い知見を得ることを目的として、「初任段階教員研修」を実施しています。

9 月 29 日（木）に行った 3 年目の教員を対象とした研修では、厚沢部町の家庭教育サポート企業である株式会社高橋建設の村越晃さんから講演いただきました。

「地域の教育資源を活用した教育活動と社会人としてのコミュニケーション能力」と題し、厚沢部中学校の生徒を受け入れた職場体験の様子や、江差高校・上ノ国高校生を対象にした就職促進マッチングの取組などについてお話いただきました。参加した教員からは、「民間企業との連携協働を推し進めていくために、学校の取組をたくさん情報発信し、相互理解を深めていく必要性があると感じた。」「地域との協働ができれば、より一層生徒への教育を充実させることができると思った。」などの声があり、とても充実した研修となりました。

4　各町のイベントのご紹介（江差町）

シニアカレッジ江差学園　学園祭

江差町の高齢者大学「シニアカレッジ江差学園」の学園祭が 10 月 20 日（木）～22 日（土）に江差町文化会館で行われました。

学園祭 2 日目の 21 日（金）には町内の幼稚園や保育園の園児を招いて交流会を行い、絵手紙や折り紙のコーナーや、缶ぽっくりや輪投げ、射的、釣り堀などの体験コーナーのほか、ステージ上には 220 枚の段ボールで作った巨大迷路を設置し、それぞれのコーナーでシニアカレッジの学生と園児が交流を深めました。

絵手紙を上手に描きました

ゴールはどっち！？

園児は、シニアカレッジの学生に遊び方を教えてもらいながら、いろいろなコーナーを体験し、「迷路が面白かった」「魚釣りが面白かった」「りんごの絵が上手に描けた」と話していました。

シニアカレッジの学生の方々は、「園児とふれあう機会があると、自分たちの活力にもつながるので今後も続けたい。」「子どもが楽しめるようにどんなコーナーを作るかなど、工夫しながら交流会を開くのが楽しい」と話していました。

◇ ◆ ◇ 檜山教育局からのお知らせ ◆ ◇ ◆

○　アンケートの協力について

「ひやまをつなごう」をより充実した内容とするため、アンケートにご協力ください。今号の感想などの他、皆様からの情報提供もこちらから入力できます。アンケートの回答は２～３分ほどで終わります。お気軽にアクセスしてください！

情報提供・アンケートはこちらから！！

※ＱＲコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です